



南会津 のうりんニュース

今月の写真:「中山峠」(下郷町中山集落付近)

今年の干支は、戌(いぬ)ですね。この例年にない大雪に見舞われている日本列島であります。雪中を駆け回る犬のように、元気に活動したいですね。

今月の内容:

- 新年を迎えて
- 今月のトピックス
 - ・南会津で初めて特別栽培米部会設立される！！
 - ・南会津農林事務所農業普及事業
外部評価懇談会が開催される！ 他
- 特集！
自然環境に配慮した魚道施設の
設置効果確認調査の実施について
- 南会津の名水の話
伊弥日子清水 (南郷村農林課)
- 南会津のこれが食べたい
ニシン漬け (只見町産業振興課農林班)
- 集落営農推進情報
館岩村の「湯ノ花集落」の取り組み紹介

平成18年1月16日発行 福島県南会津農林事務所



新年を迎えて

南会津農林事務所長 渡邊 孝一

新年あけましておめでとうございます。
希望に満ちた輝かしい平成18年の新春をご家族おそろいでお健やかに迎えの心よりお慶び申し上げます。

平素は、皆様方には南会津農林事務所業務各般に亘り大変ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

ご承知のように我が国の農林業は農村地域の過疎化・農林業従事者の高齢化・貿易の自由化等大きな問題に直面しております。

このような時代に対処するため県は万全な対策を講ずべく農林業振興へ力を注いでおります。

迎えました新年も農林業を取り巻く環境は厳しいものと思われま。

当農林事務所といたしましては「うつくしま農業農村プラン21」に基づき水田農業を抜本的に改革する等、南会津地方の農林業の発展のため懸命の努力をばらい、皆様方のご期待に添いたいと決意を新たにしております。

どうか本年も相変わらずのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様方のご健勝・ご多幸をお祈り申し上げまして新年のごあいさつといたします。

今月のトピックス

南会津で初めて 特別栽培米部会設立される!!

県では、「売れる米づくり」の一環である「特別栽培米」や「エコファーマーによる栽培」などについて推進しているところであり、南会津地方においても特別栽培米については平成16年度が37ha、平成17年度は57haと確実に伸びているところでもあります。

そんな中、南会津で特別栽培米を作付けしている生産者が共通の認識に立ち、栽培生産者数と生産量

の拡大、栽培技術の向上による安定生産と品質向上、今後の米づくりの模索とさまざまな課題に対応するため、南会津で初の特別栽培米部会が部会員76名で平成17年12月13日に設立されました。

米を取り巻く情勢は「消費の減退」「米価の下落」など厳しいものがあります。一方で、米に対する消費者や実需者ニーズは「安全・安心」「良食味」「低価格」志向が高まっており、生産者の顔が見える農作物の生産は今後ますます重要になってきています。

今回の部会設立を契機に、生産者が一体となり、消費者や実需者のニーズに応えられる産地の確立を図ることが期待されます。

(農業振興部)



南会津の米づくりを考える！ 南会津地方水田農業改革推進大会を 開催！

県では、国の米政策改革を契機に「環境にやさしい米づくり」や「意欲ある担い手への農用地利用集積」など水田の抜本的改革に取り組んでいるところですが、さらなる推進を図るため「南会津の米づくりを考える！」と題して、南会津地方水田農業改革推進大会を平成17年12月13日に田島町御蔵入交流館で参加者180名と大盛況のなか開催されました。



パネルディスカッション

初めに基調講演では、食糧問題研究所の伊藤博司編集長から「南会津の風土を活かした米づくりについて」と題して、お米を取り巻く情勢の話や他米産地の戦略等の話をいただいたのち、地産地消の取り組みや需要が伸びている中・外食産業等の分野へ視点を置いた米づくりが必要である等、南会津の米づくりへの提案をしていただきました。

また、情勢報告として、東北農政局福島農政事務所地域第一課長の永浦正義氏からは、平成19年度から始まる経営所得安定対策についてお話いただきました。

パネルディスカッションでは「なじよすっぺ、南会津の米づくりは」と題して、田島町米生産者の大和屋(有)の渡部康吉氏、会津高原たていわ農産(有)の星喜久夫氏、田島町消費生活研究会の星愛子氏、実需者である(株)グリーンハウスの平吹信司氏、JA会津みなみの齋藤博敏氏をパネラーにお迎えし、それぞれの立場から”南会津の米”についてお話いただき、消費者・実需者ニーズ、環境にやさしい米づくり、南会津産米ブランドの確立などについて熱心な議論が繰り上げられました。

南会津地方は、尾瀬や日光国立公園などに代表されるように、自然環境に恵まれた源流域であり、まさに「きれいな空気ときれいな水」の宝庫です。今回の推進大会を契機に、南会津の自然環境を活かした、消費者が求める「安全」で「安心」な農産物生産に一人でも多くのおみなさんが取り組んでいただければと思います。
(農業振興部)



南会津農林事務所農業普及事業 外部評価懇談会が開催される！

南会津地域における農業普及事業について、その活動実績等に対する検討・評価を行うため、

第1回目の外部評価懇談会が12月15日に田島合同庁舎で開催されました。

懇談会は、5名の委員で組織されており、今後3年間にわたり評価を実施することになります。本懇談会の大きな特徴は、委員の方に農業関係者を含めないことであり、農業以外の視点から幅広く検討をして頂くことになっており、また、男女共同参画推進の観点から女性委員も2名お願いしているところにあります。

南会津農林事務所農業普及事業外部評価懇談会委員
(敬称省略)

氏名	備考	摘要
湯田 正郎	田島町	会長
星 愛子	田島町	
星 平善	下郷町	
斉藤 和夫	南郷村	
目黒 典子	只見町	

当日は、第1回目の会合であり、渡邊農林事務所長のあいさつの後、懇談会会長に田島町の湯田正郎さん



を選出し、それぞれの自己紹介を行い、その後農業情勢等について勉強会を実施しました。

委員の方からは、質問も活発に行われ、農業に対する関心の高さをうかがわせると共に、普及事業の責任の重さも痛感させられました。

今後、2月頃に第2回目の懇談会を開催し、今年度の普及活動実績について評価を行う予定です。

なお、本懇談会は傍聴自由ですので、関心のある方は農業普及部までご連絡をお願いします。

(農業普及部)



経営体育成基盤整備事業 和泉田地区権利者会議を開催！

去る12月1日、南郷村農村環境改善センターにおいて経営体育成基盤整備事業和泉田地区の総仕上げとなる権利者会議を開催しました。

当事業は平成10年度に県営ほ場整備事業(担い手育成型)として着工され、以来8年間、ほ場、用排水路及び農道などの農業経営基盤の条件整備を進め
(3ページに続く)

(2ページから続く)

てきましたが、今年度に完了することとなりました。会議では、受益者の協力を得ながら、地元役員が中心となってまとめた、所有権等の新たな権利を定める和泉田地区換地



計画について審議され、採決の結果、原案どおり当計画が決定いたしました。

近年、農業や農産物を取り巻く環境は厳しく、多くの課題に直面しておりますが、当事業の完了により、土地生産性の向上、担い手への農地利用集積及び農業経営の効率化が進み、地域の将来に向けた新しい農業と農村づくりの進展が期待されます。

(農村整備部)

★ 特集！

自然環境に配慮した魚道施設の設置効果確認調査の実施について

南会津の溪流は急で災害が発生しやすいため、防災対策として治山ダム等を設置していますが、この治山ダム等の設置によりイワナ、ヤマメなどが遡上出来なくなり生息範囲が狭まり、やがて減少することが懸念されています。このことから、イワナ、ヤマメなどの豊富な溪流に魚道を設置してダムを魚が上下出来るように自然環境に十分配慮して、施設整備を行っています。

管内では、平成8年度から現在まで8基魚道を設置していますが、魚道はまだ構造改良などの開発途上にあります。

その一環として、治山ダム3基(調査名称:No2・No3・No5治山ダム)における魚道の設置効果を内水面



No3治山ダムと魚道(左側)

水産試験場などの協力を得ながら遡上調査を実施しました。その結果、下表のとおり、魚道の効果は認められましたが、調査期間が短期のため、今後定期的に調査を実施して参ります。

(森林林業部)

調査内容	魚道の遡上効果(捕獲数)			今後の対応
	No2上流	No3上流	No5上流	
調査箇所 下郷町内治山ダム3基				No3とNo5の間に小滝があり、出水時にのみ遡上可能となるため今後調査予定
H17.10.4 イワナ大小526匹をNo2の魚道下流に放流 (目印としてアブラビレを切断)	24匹のうち放流魚19匹捕獲	5匹のうち放流魚3匹捕獲	5匹のうち放流魚0匹	
H17.11.4 釣り竿により捕獲、調査後リリース				

南会津の名水の話

伊弥日子清水 (南郷村)

南郷村農林課

南郷村役場より国道289号線を只見町方面へ約8km行き、富山地区内を右折し村道突き当りの古林地内に湧出量の豊富な清水があります。

この清水は、「伊弥日子(やひこ)清水」と呼ばれ、昔から飲料水として利用されてきました。古老によると神水として、多くの御利益があると珍重されてきたようです。

名前の謂れは、小塩保次郎氏が新潟県弥日子より分神



「伊弥日子神社」を建立し、屋敷神として祀ったと伝えられており、この神社脇に湧出していることからこの名がつけられたといわれています。

南会津のこれが食べたい!!

初雪の頃の「おふくろの味」

ニシン漬け

(只見町産業振興課農林班)



これが、おふくろの味。海の幸と山の幸の美味しさを閉じ込めた「ニシン漬け」です。

身欠きニシンのぶつ切りときのこや野菜を甘酒で漬け

集落営農推進情報

館岩村の「湯ノ花集落」の 取組紹介

湯ノ花温泉で有名な館岩村の「湯ノ花集落」は全戸数83戸の集落ですが、農家数は33戸で水稻、そば、花き等を中心とした営農が行われています。

現在、中山間地域等直接支払事業を活用した「湯ノ花集落協定組合」が結成され、さまざまな活動が行われています。昨年9月には、直売や観光の結びつき、集落営農の勉強のため栃木県益子町等を訪ねました。

また、昨年12月には集落全員を招待して収穫祭が行われました。今年で2回目を迎え、芝浦工業大学と連携している「村づくり研究会」の方々も参加し120名を超える盛大なイベントとなりました。

収穫祭は世代を越え、また農家と非農家を越えたコミュニケーションの場であり、これからの湯ノ花

込んだものです。

朝、もち米3合を炊飯器で炊き上げ少し冷ます。そこへ米麴1升を混ぜ合わせ夕方まで炊飯器で保温し、甘酒に仕上げます。身欠きニシンを2~3cm程度に切り熱湯を注ぎ(臭みを取るため)約3分置いておく。きのこは、カノシタ・マスタケの塩付けを戻して一口大に食べやすくカットします。山椒の若芽(冷凍保存品)を少々加え、また野菜は好みに応じ加える(野菜は、キャベツ・大根・ニンジン等が良く合います)。これらをよく攪拌したら漬け桶に入れ押し蓋をします(重石はしない)。漬け汁が数日で上がるので直ぐに食べ頃になります。漬け汁は食べ終わるまで捨てないこと。

長い冬を乗り切る保存食として、また、お客様のもてなしとして各家庭の味をかもし出してくれる逸品です。

当地方では、長く雪に閉じ込められる冬季間に、女性の社交の場に欠かせないものとして、「飴呼ばれ」(もち米と麦芽でつくる飴)があり、甘い飴とこの美味しいニシン漬けで話題の尽きない時間を楽しみます。

集落を皆で考えることができました。

今後、集落内農地の保全管理等を図るため集落営農の組織化が検討されています。活発な集落活動がますます進展していくことを心から期待しています。

(農業普及部)



盛大に行われた「収穫祭」

お問い合わせ先はこちら

〒967-0004

福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所 地域農林企画室

TEL 0241-62-5866 FAX 0241-62-5256

電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/nourin-minamiaidu/>



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。

R100 PRINTED WITH SOY INK™
古紙配合率100%再生紙を使用しています。
この広報紙は古紙配合率100%再生紙とSOY(大豆油)インキを使用しています。